

ほっとネット

Contents

P1 巻頭言

医療DX

副院長(診療情報管理室長) 吉田 英昭

P2 特集

看護部 看護部長就任のご挨拶

看護部長 吉谷地 明美

P3 診療科発

外科 「いつも笑顔で、迅速・確実な治療」が
モットーです!

副院長(外科診療部長) 鶴間 哲弘

P4 部門紹介

4階総務グループの紹介

総務課 課長 藤田 智也

P5 地域発

医療法人社団さくら会江別泌尿器科

医院長 佐々木 寛先生

P6 新任医師紹介

P7 マイナンバーカードについて

事務部 課長(医事・企画) 赤坂 守



新人研修の様子

ほっとネット60号当選者発表

JR札幌病院 基本理念

心の通う医療

信頼される医療

地域社会に貢献する医療

基本方針

1. 社会のニーズに合った専門的な医療を提供するよう、医療技術の向上に努めます。
2. 患者様の権利を尊重し、プライバシーを守ります。
3. 地域の各機関との連携を重視し、地域医療に貢献します。
4. JR北海道の職域病院として、社員・家族の健康増進に寄与します。



R5.1.4日本医療機能評価機構より、
3rdG:Ver2.0の認定を受けました。



巻頭言 医療DX

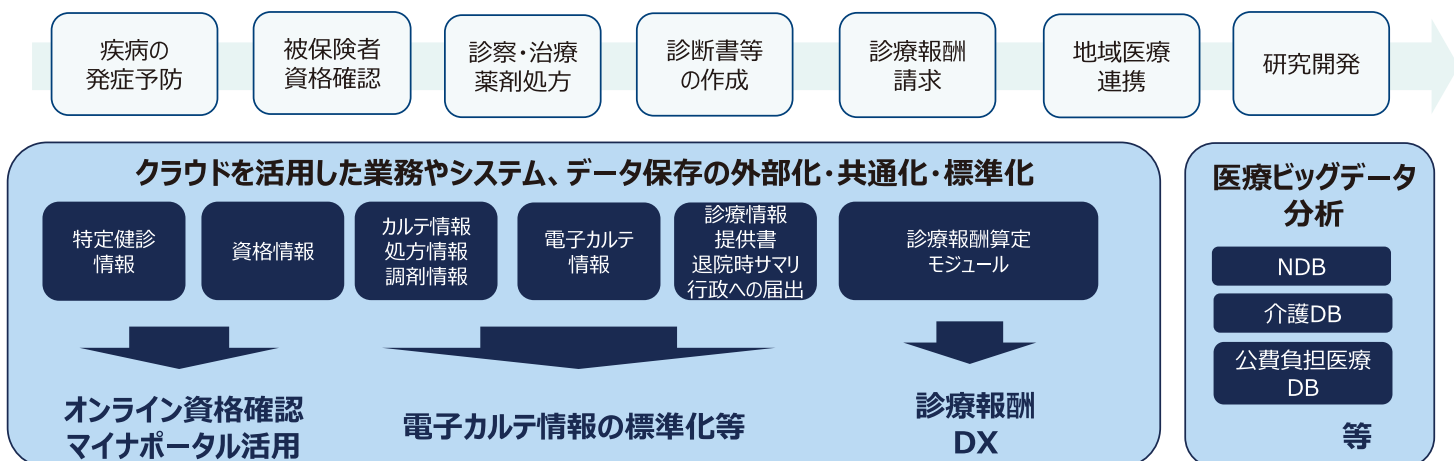


副院長
(診療情報管理室長)
吉田 英昭

以前からよく分からない略語や横文字が生活に入り込んでいる日常となっています。最近でもSDGs(持続可能な開発目標)やDXなど良く耳にするようになったと思います。DXはDigital Transformation(デジタルトランスフォーメーション)の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える(Transformする)ことなんだそうです。紙や書類で処理・管理されていた物をデジタル化して情報をまとめて整理し、無駄を省いて必要時に利用できる仕組みということでしょうか。マイナンバーカードも一つの例でしょう。最近では医療の世界に入り込んできて、学会のテーマにもSDGsやDXが盛んに取り上げられるようになってきました。なぜ注目されるのかというと、一つにはこれまでの医療は必ずしも効率的ではないことが挙げられます。例えば紹介されてきた患者さんに必要な検査や治療を行います。実はさらに別の医療機関を受診しており同ような検査・治療がされている場合があります。これは患者さん自身にも不要な負担をかけることになり、適切な治療が遅れてしまう結果になります。また多くのデータを統合して解析することができれば、より適切な治療に結び付けられる可能性があります。実際、日本の21の大学病院の電子カルテから約14万人のデータを抽出して検討したところ、ある経口糖尿病薬が糖尿病を合併する慢性腎臓病の患者の腎機能の低下スピードを遅くしていることが明らかにされました。

厚生労働省では「医療DX令和ビジョン2030」の推進チームを立ち上げています。医療DXとは、保健・医療・介護の各段階(疾病の発症予防、受診、診察・治療・薬剤処方、診断書等の作成、診療報酬の請求、医療介護の連携によるケア、地域医療連携、研究開発など)において発生する情報やデータを、全体最適化された基盤を通して、保健・医療や介護関係者の業務やシステム、データ保存の外部化・共通化・標準化を図り、国民自身の予防を促進し、より良質な医療やケアを受けられるように、社会や生活の形を変えることと定義できる、としています。難しく書かれていますが、結局のところ個人の健診や検査データを含む医療情報を一元化して共有することで、予防や治療に役立てましょう、無駄な医療費は削減しましょう、ということです。そして多くの人のデータを解析できればより適切な治療の提案ができるのではないのでしょうか？新型コロナウイルス感染症流行の際に、情報が迅速かつ適切に集約できておらず、必ずしも十分な医療を提供できていなかったという反省もあります。手始めに最近、オンライン資格確認システム(本誌p7参照)が稼働し、希望があれば薬剤情報や診療情報が共有できるようになりました。しかしながら、電子カルテの普及が令和2年度は一般病院で6割程度、診療所で5割ほどとデジタル化が進んでいない現状では、まだまだ時間を要しそうです。

医療DXの目的と方向性



厚生労働省ホームページより(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_28128.html)

特集

看護部 看護部長就任のご挨拶



看護部長

吉谷地 明美

長きにわたり看護部を牽引されてきました井上部長からバトンを渡され、この度R5年2月より看護部長に就任いたしました吉谷地明美(よしやちあけみ)と申します。この場をお借りし、皆様にご挨拶する機会を頂けたことに感謝申し上げます。これまで築き上げてられたことを引継ぎ、周りの方のお力添えを受けながら、新しいことにも挑戦していけるよう職務に励んでまいります。

JR札幌病院は「心の通う医療」「信頼される医療」「地域社会に貢献する医療」を理念に、長い歴史と共に歩んでまいりました。特に地域包括ケアシステムの推進においては、急性期病院として地域社会にどのように貢献すべきか、貢献できているのかを常に自問自答し、その難しさも経験してきました。今年は新型コロナウイルス感染症との共存に向けて次のステップを迎えます。地域の各機関との連携の回復や強化を念頭に、しっかり貢献できるように努めてまいります。

今年度の看護部の取り組みとして、2月から教育専従看護師長を配置いたしました。専門性が高まる看護教育において、経験年数や専門領域といった対象の幅広

さ、難しさを痛感しております。個々の看護職がやりがいを見出せるための支援や、持てる力を発揮できる環境整備を視野に、質の高い看護を提供するために系統的・継続的に教育や人材育成に取り組んでまいりたいと考えております。

4月3日にはJR北海道の入社式が執り行われ、JR札幌病院もオンラインで参加いたしました。看護部は22名の新採用者の方をお迎えし、約1週間のオリエンテーションを経て、各部署に配属されております。沢山の魅力ある先輩達と共に、若い活力を持った方々が、相乗効果を発揮してくれることを楽しみにしているところで

看護部は、医療チームの一員として、病院運営と地域医療に貢献できるよう日々努力してまいります。これからも、皆様からのご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



後方左より西村 志穂(クラーク)、中村 清枝(教育専従看護師長)、市川 直子(副部長)
前方左より筆者、鈴木 孝子(副部長)

診療科発

外科 「いつも笑顔で、迅速・確実な治療」がモットーです!

最近の外科領域の手術は目覚ましく進歩しています。その一つがロボット手術です。ロボット手術とは、ロボットが自動で手術してくれるのではなく、患者さんと連結させたロボットアーム(わかりやすく言うと、自由に動かすことが可能なロボットの腕)が術者の操作に従って正確に動き手術を行います。ですから、正確に言うと、“ロボット手術”ではなく、“ロボット支援下手術”ということになります。日本では、現在500台以上が稼働しており、その9割以上を占めるのがダヴィンチです。現在では呼吸器、心臓、消化器、泌尿器、婦人科、頭頸部の領域でダヴィンチ手術が行われています。当院でも外科と泌尿器科でダヴィンチ手術を施行しています。ダヴィンチ手術では、患者さんのお腹に数か所の小さな孔を開け、そこから二酸化炭素ガスでお腹の中を膨らませ手術操作を行う空間を作るところから手術が始まります。ここまでは、通常の腹腔鏡手術と同様な手術手順です。従来の腹腔鏡手術では、この孔を介してお腹の中にカメラと特殊な機器を挿入し、そのカメラで映し出したお腹の中の病変部位を見ながら術者の手の操作で直接的に機器を動かし手術を行ってきました。一方、ダヴィンチ手術では、患者さんのお腹に開けた孔にロボットアームを接続し、ロボットと患者さんを一体化させます。術者は、患者さんと離れた場所に設置しているサージョンコンソールという操作台で、鮮明な3D映像を見ながらロボットを操作します(写真1)。術者の操作にしたがって、ロボットは動くわけですが、人間の手に相当するロボットアームの先端は関節が7個あり270度の可動域(多関節機能)を有し、術者の指・手の動きを忠実に再現します。また、術者の手の震えが自動的に取り除かれ、正確な手術操作が可能となります。ロボット支援下手術のメリットは、患者さん側にとっては、開腹手術と比較して傷口が小さく、



患者さんのお腹と接続する
ロボット本体



術者が操作を行う
“サージョンコンソール”

写真1 ダヴィンチシステム

かつ、正確な手術が可能になることで、この手術は、外科医側にも大きなメリットがあります。鮮明な3D画像で拡大され極めて細部まで病変観察が可能であり、さらには、ロボットの多関節機能によって腹腔鏡手術では操作が困難であった部位まで容易に操作可能である点です。先日、近隣の病院やクリニックの先生や職員の方をお招きし、手術室で実際に腹腔鏡手術とダヴィンチ手術の操作を体験していただく機会があり、皆さんにダヴィンチ手術の有用性を実感していただきました(写真2)。

当科では、ダヴィンチ手術以外でも、特色ある外科治療を行っています。便が漏れてしまうことはありませんか？それは、“便失禁”という病気です。当科では、便失禁に対し、“仙骨神経刺激療法”という治療を行っています。また、肥満は様々な病気を引き起こします。ある程度以上の肥満になると自己でのダイエットは困難であることが実証されています。そんな病的肥満に対する手術や直腸が肛門から垂れ下がってくる“直腸脱”に対する腹腔鏡手術などがあります。

お腹、肛門、乳腺に関する幅広い治療を外科医5名(写真3)で行っています。いつでも、当科の扉を開けてください。お待ちしております。



写真2 『第7回がん診療連携症例検討会』でのダヴィンチ体験



写真3 JR札幌病院外科医
(写真左より平田 公一、齋藤 慶太、筆者、田山 慶子、金澤 あゆみ)



副院長
(外科診療部長)
鶴間 哲弘

部門紹介

4階総務グループの紹介



総務課
課長
藤田 智也

JR札幌病院は、鉄道会社である北海道旅客鉄道株式会社（通称：JR北海道）の1部門にあたります。

国鉄の職域医療機関として、大正4年11月に「札幌鉄道病院」として産声を上げ、国鉄の分割民営化によりJR北海道が誕生した際に、病院も承継され、平成21年に現在の建物が完成し、「JR札幌病院」となっています。

当院の母体であるJR北海道とは、現在経営再建の真っ最中であることはご承知のことかと思いますが、我々病院事業の他、とにかく多くのセクションがあります。

簡単に思いつくのは、鉄道に関わる仕事として、列車の運行に関わる運転士や車掌、駅員が思い浮かぶと思います。「これらの人以外は何しているの？」とよく聞かれますが、鉄道車両を安全に動かすための整備点検をする人、線路の保守点検をする人がおり、24時間体制で業務に就いています。その他、企業として、当然ながら経営企画、総務・財務・営業などの各セクションがあり、現在の総社員数は、当院社員を含めて約6,200人強（2022年4月時点）となっています。

その他、ジェイ・アール北海道バスのバス事業、JRタワーホテル日航札幌などのホテル事業、札幌ステラプレイスやキヨスク、生鮮市場といった小売業、不動産業など17のグループ会社もあります。

さて、そのような会社の一部門であるJR札幌病院、中でも我々総務グループは、そこで何をしているかとなると、ひと言でいうと「何でも屋さん」であります。

社員の勤務・給与などの生活に関わる管理をはじめ、病院内の建物やその保守などの施設や設備管理、病院外に向けての広報や採用活動など、主に医療技術が伴わない業務を担当しています。

時には患者さんからの訴えごとへの対応、はたまた職員間のもめ事の整理をしていることもあります。

このような対応の際に、規則・ルールはあくまでも会社であるJR北海道なので、会社内のいろいろなセクションの社員との調整があり、一番関わりが深いところでもあります。（たまに、間違えて受診を予約したいと電話がかかってくることもあります）

このように、「医療」という舞台には立ちませんが、「鉄道」との間に挟まれて、裏方で社員の生活や施設、設備を守っているのが我々の「The 総務」です。医療的な装いをせず院内を歩いております（警備の方とお間違えないように）ので、どうぞお見知りおき下さいませ。



地域誌

医療法人社団さくら会江別泌尿器科

医院長 佐々木 寛 先生



私たち医療法人社団さくら会江別泌尿器科は、江別市野幌若葉町の白樺通りに診療を開始し、今年で26年目になる泌尿器科の有床診療所です。新札幌副都心に開設しております系列クリニックの新札幌泌尿器科と併せ、医師4名で診療を行っております。江別泌尿器科では一般泌尿器科の外来診療に加え、尿路感染症や排尿機能障害などに対する入院検査・加療のほか、前立腺癌診断のための生検、前立腺肥大症や膀胱腫瘍・尿路結石症などに対する内視鏡手術や、包茎や陰嚢水腫に対する根治術なども行っております。透析ベッドも12床稼働しており、透析患者さんの送迎も行っております。

患者さんは江別市内のみならず、広く石狩・南空知から受診されます。遠路自家用車で通院される患者さんが多く、施設規模の割には広い駐車場を用意しておりますが、ご高齢の患者さんが自ら運転されて通院される姿を見るに、時として不安を感じずにはおれません。公共交通機関網が発達しているとは言い難い地域医療が抱える悩みの一つです。通院が困難な患者さんについては、症状が安定していれば地元自治体のかかりつけ病院や診療所に処方を継続して頂き、泌尿器科的に何か問題があればご連絡を頂くようお願いすることも多々あります。泌尿器科疾患について高度な対応が必要な患者さんにつきましては、札幌市内の大きな病院へ紹介させて頂いており、大学病院他様々な病院のお世話になっております。

単科の診療所であるが故に、泌尿器科以外を標榜する他院他科との連携は欠かせません。診療中に気になった軽微な異常の問い合わせから、たまたま発見した重篤な疾患の診療依頼まで、近隣の先生方には日頃多分にお世話になっております。何事も自院で解決できる高度医療施設の強みはありませんが、気兼ねなく連携できる他科の先生方と協

力しながら、患者さんの地元で広くプライマリケアに携わる大きな総合診療網の中の一専門科として、今後も診療を継続して参りたいと思っております。

また、系列クリニックの新札幌泌尿器科では月水金曜は夜8時まで診療を行っており、日中受診の都合がつかない患者さんの需要に応えております。開設場所と診療時間による特徴か性感染症が多く、特に最近では梅毒の蔓延を実感しております。すすきの界隈を感染源とする症例が圧倒的に多く、行政主体による何らかの強い対策が必要ではないかと強く思っている昨今です。



外来診療時間・担当医 R2年6月1日～

江別泌尿器科 TEL 011-381-8228 [人工透析] [入院可] 日・祝日 休診

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	宮田	氏家	佐々木	安藤	氏家	佐々木
午後 14:00～16:00	宮田	[手続日]	佐々木	[手続日]	氏家	[手続日]

☆火曜日・木曜日・土曜日の午後は休診いたします。

新札幌泌尿器科 TEL 011-895-8228 [夜間診療] 日・祝日 休診

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00～12:00	佐々木	安藤	宮田	氏家	安藤	宮田
夜間 17:00～20:00	佐々木	[手続日]	宮田	[手続日]	安藤	[手続日]

☆火曜日・木曜日・土曜日の午後は休診いたします。



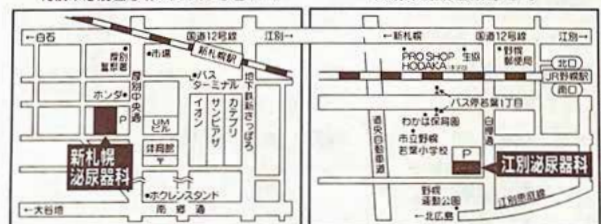
医療法人社団 さくら会

新札幌泌尿器科

〒004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9-15

江別泌尿器科

〒069-0831 江別市野幌若葉町13-5



医療法人社団さくら会江別泌尿器科

江別市野幌若葉町13-5

TEL 011-381-8228 FAX 011-381-8338

医院長 佐々木 寛

診療時間 月・水・金/9:00～12:00 14:00～16:00

火・木・土/9:00～12:00

休診日 日、祝日

新任医師 紹介

①略歴 ②専門分野 ③特技・趣味 ④一言



循環器内科 **清水 将輝**
(しみず まさき)

①2015年札幌医科大学卒、2017年札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内科学講座入局、札幌医科大学附属病院、旭川赤十字病院、札幌循環器病院を経て2023年4月から当院勤務。

- ②循環器内科
③ドライブ
④患者さんにとって最善の医療を提供できるよう、努めてまいります。宜しくお願いいたします。



整形外科 **小路 弘晃**
(しょうじ ひろあき)

①2009年札幌医科大学卒。札幌医科大学附属病院、市立室蘭総合病院、道立子ども総合医療・療育センター、砂川市立病院、釧路赤十字病院に勤務。2023年4月より当院勤務。

- ②膝関節、足関節、人工関節、スポーツ医学
③サッカー、フットサル
④丁寧でわかりやすい診察を提供します。よろしくお願いします。



リウマチ科 **鈴木 知佐子**
(すずき ちさこ)

①1998年札幌医科大学卒、同第一内科入局。1999年小樽協成病院、2002年札幌医科大学附属病院第一内科膠原病グループ、2013年同病院消化器・免疫・リウマチ内科膠原病グループ、2017年同病院免疫・リウマチ内科での勤務を経て、2023年4月より当院勤務。

- ②膠原病、リウマチ性疾患
③本を読むこと、散歩
④丁寧でわかりやすい説明を行い、最適な診療を選択・提供するよう努めます。どうぞよろしくお願い致します。



皮膚科 **宮澤 元**
(みやざわ はじめ)

①2012年札幌医科大学卒、2016年北海道大学皮膚科に入局、帯広厚生病院の勤務を経て、2023年4月より当院勤務。
②アトピー性皮膚炎、乾癬

- ③マンガ、映画
④よりよい医療をこころがけていきますのでよろしくお願い申し上げます。



消化器内科 **世戸 凌太**
(せと りょうた)

①2020年札幌医科大学卒。砂川市立病院、札幌医科大学附属病院を経て、2023年4月より当院勤務。

- ②消化器一般
③自転車、カメラ
④患者さんのお役に立てるよう、日々精進いたします。



腎臓内科 **寺沢 誠**
(てらさわ まこと)

①2016年札幌医科大学卒、市立室蘭総合病院、札幌医科大学で初期臨床研修の後、札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内科学講座に入局。帯広厚生病院、足寄国保病院、道立江差病院等の勤務を経て2023年4月より当院勤務。

- ②腎臓、糖尿病
③ゲーム
④安心して医療を受けてもらえるように努力します。よろしくお願いします。



泌尿器科 **館岡 穰**
(たておか じょう)

①2015年旭川医科大学医学部医学科卒業。その後旭川医科大学付属病院、北見赤十字病院にて勤務。現在に至る。

- ②泌尿器腫瘍
③サッカー観戦
④患者さん一人一人にあわせた医療を提供できればと思っています。よろしくお願い致します。



皮膚科 **黒澤 卓**
(くろさわ すぐる)

①2020年北海道大学卒、帯広厚生病院と北海道大学病院で初期研修を行い、2022年に北大皮膚科入局。北大病院勤務を経て2023年4月より当院勤務。

- ②皮膚科
③スポーツ観戦、映画鑑賞
④若輩者ではありますが、丁寧な診療を心がけます。どうぞ宜しくお願い致します。



皮膚科 **木村 彩萌**
(きむら あやめ)

①2019年北海道大学卒、KKR札幌医療センターで初期研修修了後、2021年北海道大学皮膚科入局。2022年小樽市立病院勤務、2023年4月より当院勤務。

- ②皮膚科
③旅行、音楽鑑賞、語学勉強
④患者さんに最善の医療を提供できるよう、スタッフの皆様と協力し努力して参ります。宜しくお願い致します。

マイナンバーカードについて



事務部
課長(医事・企画)
赤坂 守

当院では、より高い医療を提供するため、マイナンバーカードを利用した「オンライン資格確認システム」の運用を開始しています。

マイナンバーカードをお持ちの方は、窓口で保険証をご提示いただくなくても窓口設置のカードリーダーを利用することで、保険の資格確認が行えます。

・オンライン資格確認システムとは

来院された患者さんの保険情報及び、服用薬剤、特定健診に関する情報について、個々の医療機関がその場で確認できるシステムです。

既にマイナンバーカードと保険証を紐付けすることが出来るようになっていますが、マイナンバーカードを保険証として使用し、それを読み取り、資格確認を行うためにも必要となるのが「オンライン資格確認システム」です。

・マイナンバーカードを利用する主なメリットについて

1 ご自身の健康管理に役立ちます

マイナポータルでご自身の特定健診情報や薬剤情報・医療費通

知情報を閲覧できます。

2 より良い医療が可能になります

ご本人が同意をすれば、初めての医療機関等でも、特定健診情報や今までに使った薬剤情報が医師等と共有できます。例えば災害時、おくすり手帳が手元にない場合などに有用です。

3 オンラインで医療費控除がより簡単になります

マイナポータルを通じた医療費通知情報の自動入力で、確定申告の医療費控除がより簡単になります。

4 手続きなしで、限度額を超える一時的な支払が不要になります

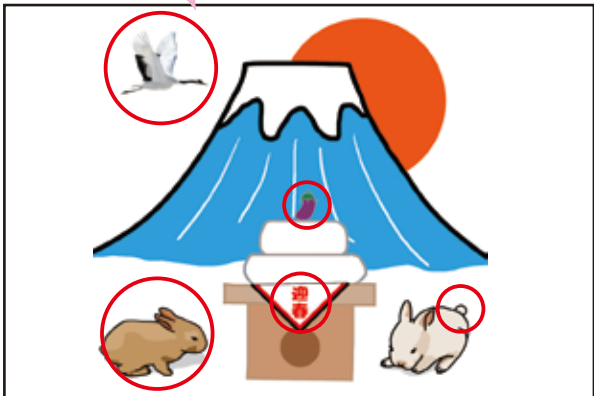
限度額適用認定証がなくても高額療養費制度における限度額を超える支払が免除されます。

今後、多くの患者さんが特定健診情報や薬剤情報の閲覧などでメリットを実感していただくことで、広く普及されていくものと考えています。



ほっとネット60号当選者発表

5つのまちがいは



応募総数 **30人**

抽選の結果、次の5名の方にクオカードをお送りいたします。

魔胃庫chama 様、大塚小爾太 様、アッキー 様、
松田美歩 様、三浦芳江 様

編集後記

コロナの流行から3年が経ちました。5月には2類相当から5類に引き下げられインフルエンザ感染症と同等の扱いとなりました。制限がさらに緩和され様々なイベントが再開となり以前の賑わいが戻ってくることを期待しています。

これからも感染予防対策を十分行いながら楽しみましょう。(T・T)

※今月号のクイズはお休みとなっています。

発行日/2023年6月1日

編集長/長谷川 徹

編集者/大村 早代・谷口 きよみ・石川 剛・藤原 和希・蝦名 留伊
寺田 基・渡邊 悠太・章 純樹・中村 拓海

発行所/札幌市中央区北3条東1丁目

JR札幌病院 広報誌企画編集委員会

<https://hospital.jrhokkaido.co.jp/>